



小川っ子

唐津市立小川小中学校
学校だより 第9号
令和2年10月5日発行
文責 高木 俊実

アイランドフェスティバルへのご参観ありがとうございました。 9

月26日(土)にアイランドフェスティバルを開催しました。島内より多くの皆様にご参観いただいたことを心から感謝申し上げます。また、フェスティバルに花を添えていただいた、鯨骨切唄保存会の皆様、小川島和太鼓クラブの皆様、また、かわいい演技を披露していただいた小川島保育園の園児の皆さん、どうもありがとうございました。

今年のアイランドフェスティバルは、9人という少人数でありながらも、着々と準備をすすめ、この日を迎えました。

小中学生による音楽発表では、昨年度より、さらにバージョンアップした小1・5・6年生によるスピード感があるピアノ連弾、心にしみる小学生の合唱、「ビリーブ」、何度聞いても涙が出てくる「守ろう小川島・小川島唄」の全校合唱、小中学生9人全員が一人ひとり自分の役割をしっかりと果たした器楽合奏「キセキ」などで、質の高い発表を行ってくれました。

小学生の劇「約束」では、テンポよく、息の合った演技、「黒うさぎ」や「オオカミ」の熱演で参観者を大いに楽しませてくれました。

中学生は、島留学生としてすごした「小川島」へ感謝の気持ちを海洋ゴミ問題を取り扱った「総合的な学習の時間」の発表と「閉会行事」を通して、島民のみなさんに伝えてくれました。(裏面に閉会行事でのあいさつを紹介しています)

このアイランドフェスティバルの成功を自信として、これからもさらに、勉強やスポーツをはじめ、色々なことに積極的に挑戦してほしいと



教育目標

自立 貢献

～未来へはばたく子どもたち～

ありがとう小川島

～アイランドフェスティバル 閉会行事 中学3年生より～

岡田 君



小川島に来て、もう少しで3年になります。最初は大きく生活環境が変わるので、友達ができるのか、また、島のみなさんと仲良くできるのかとても心配でした。しかし、実際に小川島に来てみると島の方はとても優しく接しやすい方ばかりで、この島に来て本当に良かったと思いました。

小川島に来て思い出に残っていることは島の方とグランドゴルフをしたことや、たくさんの新鮮な魚や海産物をいただいたことです。島の食べ物は新鮮でとてもおいしいものばかりでした。他には学校の生徒会活動で自分たちが中心となり学校の為にいろんな貢献をしたこともよい思い出です。また、剣道では、清水君とたくさん稽古に励み、中体連では、自分の力を精一杯出し切って試合をすることができました。学校の先生や保護者の方にも応援にきていただき、とてもうれしかったです。

清水 君



2019年の10月、僕が島留学生として小川島にきてから1年が経とうとしています。ここで、たくさんの経験をすることができました。

まず、小川島にきて同じクラスだった岡田くんと出会いました。岡田君とはすぐに打ち解けて、今では一緒に遊ぶことが増えました。そして、岡田くんと臨んだ初めての剣道中体連では、初めて勝つこともでき、初めて負けるという経験もしました。

学校では、遅刻が多かった僕に先生方は優しく声掛けをしてくださり、勉強や部活でたくさん支えてもらいました。

そして、島の方からもたくさん支えてもらっています。小川島にきて、優しく声をかけてもらったり、今住んでいる家の家主さんは、魚を持ってきてくれたり、台風の被害を受けないようにガラスにテープを貼ってくれたり、家の修理までしてくれました。小川島での思い出は、僕にとって楽しい思い出ばかりです。残り半年という短い時間は、第2のふるさとであるこの小川島に貢献したいと思います。

お知らせ

本年度4月から島留学生として本校で学校生活を送っていた小学生児童2名が、ご家庭の都合により、「アイランドフェスティバル」を最後に、他県の小学校へ転出することになりました。

大変残念ですが、新天地でも、小川小学校での半年間を忘れずに、いろいろなことに挑戦して、元気に過ごしてほしいと思います。

